



安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療



静岡てんかん・神経医療センター情報誌

令和5年 夏 第73号



# あかり

A K A R I

新任のご挨拶	1
てんかん学習プログラム(MOSES/famoses)の紹介	2
当院では、てんかん・重症心身障がい児(者)・神経難病の 院内認定看護師が活動しています。	3
ロボットスーツHALによるリハビリテーション	4
新採用者自己紹介	5
転勤者自己紹介	6
外来再診の診療体制/医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8

## 新任のご挨拶

事務部長 渡辺 進

令和5年4月から事務部長としてまいりました渡辺と申します。よろしくお願いいたします。出身地は石川県ですが、社会人生活をスタートしたのが静岡県で、数十年ぶりの静岡に非常に懐かしい想いで胸一杯になっています。

当時の住まいからは玄関を開けると雄大な富士の姿が目飛び込んで来て、自然や気候に恵まれた静岡という土地に伸び伸びと育てていただいたように記憶しています。あれから数十年が経過し、街には新しい道路が通り、高層ビルも建ち、風景は様変わりしましたが、富士山は変わらず雄大で心癒やされる存在です。

医療に目を向けますと、今年は第8次医療計画策定の年にあたっています。医療計画は、医療法に基づき、厚生労働大臣が示す基本方針に即して、地域の実情に応じた医療提供体制の確保を図るため都道府県が定める計画で、今回の第8次地域医療計画が

ら新興感染症への対応に関する事項が追加されることになっています。

本年5月には新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ5類へ移行したことや、患者さまの受療行動が変化したことで、地域においてどのような医療サービスを、どれくらい備えておく必要があるのかが課題になっており、各医療機関はこの計画にどのように対応していくかが求められています。

このように医療を取り巻く環境が急速に変化していくなか、当院はこれらの変化に対応しながらも、てんかんをはじめ、認知症、神経難病、あるいは重度心身障がいなどを抱える患者さまが、これまでどおり安心して医療を受けることができるよう当院の理念である「安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療」を継続して提

供させていただきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



当院の周囲には、麻機(あさはた)遊水地などがあり、自然が豊で療養に適した地であると共に、バス路線があり、新東名高速道路や静清バイパスなどからも近く、交通の便は悪くない位置にあります。当院の利用にあたりご不明な点などがある場合には遠慮なくご相談いただければ幸いです。

さて、静岡と言えば現在NHKにて放送されている大河ドラマ「どうする家康」ですが、これは歴史愛好家の方々などにお任せするとして、私は東海道



五十三次の宿場町に興味があり、これらを巡ってみようかと考えています。既に江尻宿、由比宿を巡ってまいりました。江尻宿では旧東海道を歩き次郎長通り、巴川などを散策し、次郎長生家、船宿末廣を訪れましたし、由比宿では、広重美術館はもとより、旬の桜エビも堪能してまいりました。

過去には、中山道は奈良井宿、妻籠宿、馬籠宿にも訪れたことがあり、広重美術館では、これらの宿場町も合わせてそれぞれの地の歴史、文化と現在の宿場町の風景を重ね合わせ、感慨深く学びました。静岡県内には22もの宿場町があるそうで、まだ行ったことがない宿場町を訪れ、その街の歴史に触れ、風景に癒やされることに、既に胸がわくわくしています。

まだまだ学ぶべきことが多い私ですが、与えられた職を全うしたいと考えておりますので、みなさま方のご支援をいただきたくお願い申し上げます。

## てんかん学習プログラム (MOSES/famoses) の紹介



西田 拓司、大谷 英之

当院ではてんかんのある人とその家族がてんかんについて学ぶためのプログラムMOSES(モーゼス)とfamoses(ファモーゼス)を提供しています。MOSESはてんかんのある成人(16歳以上)、famosesはてんかんのある子ども(おおむね7歳から12歳)とその家族がそれぞれ集まり、専門のトレーナーとともに話し合いをしながら病気について学びます。どちらもプログラムもてんかんのある人やその家族がてんかんの知識が増やしたり、前向きに生きていくことを手助けしたりします。MOSESは約1か月の入院、famoses



**MOSES**  
モーゼス  
**famoses**

は数日から2週間の入院(外来)で行います。

今年度、MOSESは2023年5月、7月、8月、11月、2024年1月、famosesは2023年6月、9月、12月に予定しています。てんかんについて学びたい、同じ病気のある人(家族)とてんかんについて話したい、これから社会にでるために前向きに生きたいなどお考えの方はぜひご参加ください。当院かかりつけの方は主治医、看護師、その他の方は医療福祉相談室(初診前相談、平日11時~13時、TEL:054-245-5446)、医療機関の方は地域医療連携室(TEL:054-246-1065)までお問い合わせください。

詳しくは、MOSES/famosesホームページ(<http://mosesjapan.com/>)をご覧ください。

## 当院では、てんかん・重症心身障がい児(者)・神経難病の 院内認定看護師が活動しています。

院内認定重症心身障がい看護師

「重症心身障がい」とは、病気の診断名ではなく、重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複している状態をいいます。

重度の肢体不自由によって、日常生活の中で、自分の力でできる動作は少なく、ほぼ全ての活動に介助が必要となります。寝返りや座ることも困難な方が多いため、動けないことによる弊害にも注意が必要です。調子が悪いことや気持ちを会話で伝えられる方は少ないです。日々の患者さんとの関わりの中で、表情や体のちょっとした動きを丁寧に観察しています。その日々の観察を元に、普段と何かが違う「おや?」と気づく感性が重症心身障がい看護では大切になります。

年齢の幅は乳幼児から高齢者までと幅が広く、成長に合わせたケアが求められています。成長は、実年齢だけで測るのではなく個々の成長・日々の変化を見逃さないようにしています。入院されている重症心身障がい児(者)の方は、病気に対する治療だけではなく、成長発達をする生活の場でも

あります。多職種と協力して季節を感じられる生活環境となるようにしています。

当院では、平成24年3月に院内認定重症心身障がい看護師が認定され、活動を始めてから11年になります。医療技術の進歩に伴い、重症心身障がい児(者)における看護は、より質の高い医療的ケアが求められるようになりました。これまで不定期で希望者のみに行っていた重症心身障がいについての研修を見直し、新たに「専門看護研修」として位置づけられました。てんかん・神経難病・重症心身障がい児(者)における看護を段階的に学習できる教育体制となっています。研修では、院内認定看護師が講師を務めています。重症心身障がい看護師として、知識やこれまでの経験を研修で伝えることで、研修生の方の重症心身障がい看護についての知識・技術の向上、入院される患者さんのより安全・安楽な生活につながるよう支援しています。

## 重症心身障害児(者)の方々の人生に寄り添う 様々な支援を行っています

日中楽しく  
過ごせる場所  
を見つけたい

自宅での介護  
が厳しくなり、  
入所したい

家族の用事、  
休息のため、  
短期間でも  
よいので面  
倒みてほしい

【通所(ひまわり通園)】  
日中活動として、生活支援、  
療育支援、その他の必要な日  
常生活上の支援を行います。

【短期入所】  
在宅支援の一つとして、家族  
が困った時、レスパイト的に入  
所していただけます。食事、  
排泄、生活上の医療的ケア等  
を行います。

豊かで潤いのある  
生活をサポートします。

【入所(入院)支援】  
4つの病棟(全160床)があり、医療的ケアはも  
ちろん、リハビリ、生活支援、療育支援等幅広く、  
生活に変化を持たせ、支援します。

興味のある方、お悩みの方、ぜひお問い合わせください。  
その際は、「あかり」を見たとお伝えください。

静岡てんかん・神経医療センター-療育指導室

# ロボットスーツHALによる リハビリテーション

リハビリテーション科 理学療法士 高橋 伸寿



当院では2020年4月よりロボットスーツHALによるリハビリテーションが行えるようになりました。

HALとは装着する人の「意志」を感知して歩行動作を援助する画期的な自立動作支援ロボットです。

対象は神経・筋疾患の診断を受けた方で、歩行機能の低下が生じている方です。当院では対象の方に2～4週間の短期リハビリテーション入院をしてもらい実施しています。

実施された方の感想の多くは「やってみて良かった」「歩き方を思い出すキッカケになった」等の前向きなものがほとんどです。

一緒にチャレンジする私たちリハビリテーション科スタッフも実施された方の心と体の変化を共有出来てとても有意義なりハビリテーションです。

## 新人自己紹介

### 新採用者

#### 小児科レジデント

#### 井口 晃宏

こんにちは！埼玉から転勤してきました井口です。これまで、東京、香港、滋賀、神奈川、千葉、埼玉と各地を転々として参りましたが、転入して1週間で静岡が好きになりました。趣味はランニング、マラソンです。初診を忘れず頑張ります。

#### 脳神経内科レジデント

#### 溝口 知孝

脳神経内科医として経験を積んできましたが、てんかん診療の経験、知識を深めるため、今年度から赴任してきました。読書、ゲームが趣味ですが、大学時代に空手もやっていました。よろしくお願いします。

#### 小児科レジデント

#### 矢部 友奈

初めまして、大分県から来ました矢部と申します。主人の仕事の関係で静岡県東部から新東名を通り、1時間かけて通っています。もうすぐ2才になる息子の子育てにも奮闘中です。てんかん診療は奥が深く、じっくり時間をかけて、しっかり学んでいきたいと思っています。

#### 看護部A2病棟

#### 看護師

総合病院で長らく勤務していましたが、より専門的な分野を勉強したく、こちらの病院にお世話になる事になりました。患者さんには誠意を持って、自分自身は日々平常心で頑張りたいと思います。よろしくお願いします

#### 看護部A5病棟 看護師

#### 須安 綾

4月から看護師としてA5病棟に配属になりました。てんかんをもつ患者さんやご家族をしっかり捉え、必要な看護を常に考え、行っていききたいと思います。宜しくお願い致します。

#### 看護部A6病棟 看護師

#### 清水 莉奈

てんかんについて専門的に学んでいきたいと考え、就職しました。てんかんについての知識を深め、看護に活かしていきたいです。趣味は旅行と美味しい物を食べることです。よろしくお願い致します。

#### 看護部B1病棟 看護師

#### 清水 萌里

三重県から来ました。慢性期の患者様だけでなくその方のご家族にも寄り添えるような看護を行えるように頑張っていきたいです。よろしくお願い致します。

#### 看護部C2病棟 看護師

#### 前田 崇博

前職は重症心身障害児・者病棟で勤務していました。今までの経験を糧にこれからもいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。また、利用者様一人一人の生活を支えることの出来る看護師として頑張っていきたいと思っています。

#### 保育士

#### 守屋 知佳

4月から入職した守屋と申します。活動を通して患者さんが笑顔溢れる時間を過ごせるように努めていきたいと思っています。これからよろしくお願い致します。

## 新人自己紹介

### 転勤者

#### 薬剤部 製剤主任

#### 磯部 忠良

本年度転勤して参りました薬剤師の磯部と申します。私は静岡市の清水出身で高校時代もこちらで過ごしました。なじみの深い静岡の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので、皆様よろしくお願い致します。

#### 臨床検査科 副臨床検査技師長

#### 渡邊 宏美

金沢医療センターから異動して参りました。4年ぶり2度目の勤務です。雪の金沢では転倒し骨折しましたが、こちらではその心配がいらす安心しております。また脳波の勉強ができ光栄です。よろしくお願い致します。

#### 放射線科 放射線技師長

#### 佐藤 善彦

金沢医療センターより4月に赴任してきました。診療放射線技師の佐藤善彦と申します。雪の多い寒い地方で培った患者様に対する温かい気持ちと、丁寧な接遇で検査を安心して受けていただける様に心掛けていこうと思っています。よろしく申し上げます。

#### 放射線科 RI検査主任

#### 瀬古 由紀枝

これまでは、急性期病院勤務していたため、勉強不足もあるかと思えます。1日でも早く専門的な知識を得るように頑張りたいです。よろしく申し上げます。



#### 栄養管理室 主任栄養士

#### 小嶋 紀子

4月から主任栄養士として赴任してきて、4施設目になります。今までの経験を活かして地元の方々に安心しておいしい食事が提供できるように頑張ります。また、“てんかん”という疾患の栄養管理は初めてなので日々勉強していきながら患者様に寄り添った栄養士になれるように日々精進していきます。よろしく申し上げます。

#### リハビリテーション科 作業療法士

#### 柴田 進吾

出身は愛知県ですが、石川県から参りました。石川県で8年間リハビリの仕事を務めさせていただきました。患者様と一緒にできるだけ住み良い生活を目指していけるようがんばりたいと思います。宜しくお願いします。

#### リハビリテーション科 理学療法士

#### 落合 香

地元の病院で働けることが大変嬉しいです。精一杯頑張ります。よろしく申し上げます。

#### 事務部 事務部長

#### 渡辺 進

35年振りに静岡に勤務することになり、嬉しく思っております。様々な課題に取り組んでいきたいと思しますのでよろしくお願いたします。

#### 事務部 管理課長

#### 小島 秀之

長良医療センターから赴任しました小島と申します。職場に早く慣れるように努めます。どうぞよろしくお願いたします。

#### 事務部 業務班長

#### 辻田 壽栄

10年ぶりに再びこちらでお世話になることとなりました。今回は初めての転勤で右も左もわからず、周囲のみなさまに助けていただいたことが強く印象に残っています。一日でも早くみなさまの力となるように頑張りますので、よろしくお願いたします。

診 療 体 制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

診察室	初 診					再 診				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室							山崎悦	川口	山崎悦	白井
第2診察室						徳本		荒木		
第3診察室	大谷英之			白井直敬			西田			西田
第4診察室								日吉	美根	川口
第5診察室							水谷			小川
第6診察室						芳村			芳村	松平
第7診察室			山口解冬	荒木保清			荒木			山口
第8診察室		今井克美		今井克美	今井克美	今井		高橋		
第9診察室		川口典彦	芳村勝城			重松			大谷	大谷
第12診察室	西田拓司		松平敬史		山崎悦子					

脳神経内科

■ 初診

診察室	曜日	月	火	水	木	金
第10診察室	午前	高嶋	小尾	小尾		小尾
	午後	小尾智一	小尾智一	小尾智一		小尾智一
第11診察室	午前	杉浦	杉浦	寺田		
	午後	寺田達弘		寺田達弘		尾内康臣 第4週
第13診察室	午前			高嶋		

特殊外来

認知症疾患医療センター 月・水 小尾智一

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

T E L ■ 054-246-4580

F A X ■ 054-246-4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人 ■

西田 拓司 青木 裕子 石橋 綾子  
 矢嶋 隆宏 渡邊 宏美 葛城 裕幸  
 堀 友輔 高橋 輝 長田 英喜  
 加治 豪廣

発行 ■ 令和5年7月31日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054-245-5446

F A X ■ 054-247-9781

U R L ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp>

E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

## はじめて当院を受診される方へ

### ◆診察は予約制になっています◆

#### 1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)  
その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

#### 2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

#### 3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,750円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

#### 4 セカンドオピニオンについて

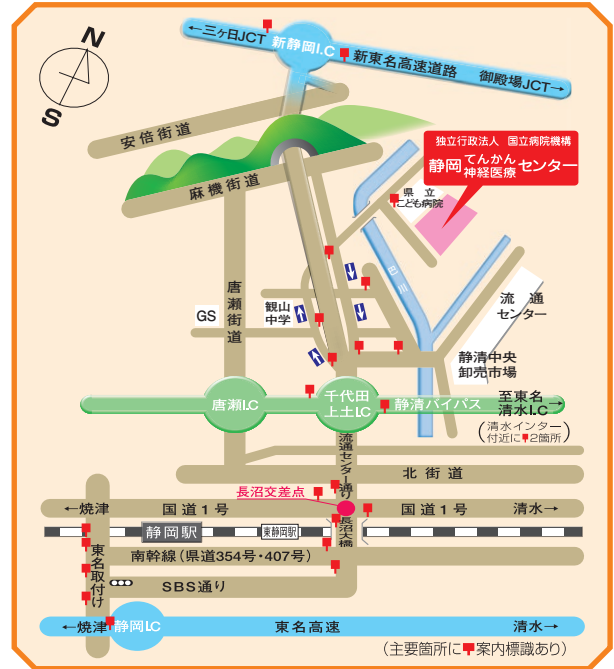
セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

#### 5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

## 当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。 片道料金は大人370円、小児190円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。 所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
お車の場合	東京方面から
	名古屋方面から
東京方面から	● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
名古屋方面から	● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 ● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



## 本

### ● 抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

### ● エキスパートが語る てんかん診療実践ガイド

【日本医事新報社、2022年7月】

静岡てんかん・神経医療センターの専門医が中心となり、てんかんの診断・分類から薬物治療、社会生活のアドバイスまでを体系的に解説。  
・てんかん発作と間違いやすい症状・疾患との鑑別を丁寧に取り上げ、誤診を防ぐための知識をふんだんに紹介。  
・薬物治療についても、併存症や副作用、減薬など、判断に迷うことの多い疑問にやさしく回答しました。

### ● 新 小児てんかん診療マニュアル 【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

### ● プライマリ・ケアのための 新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。  
2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

## てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供 <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)